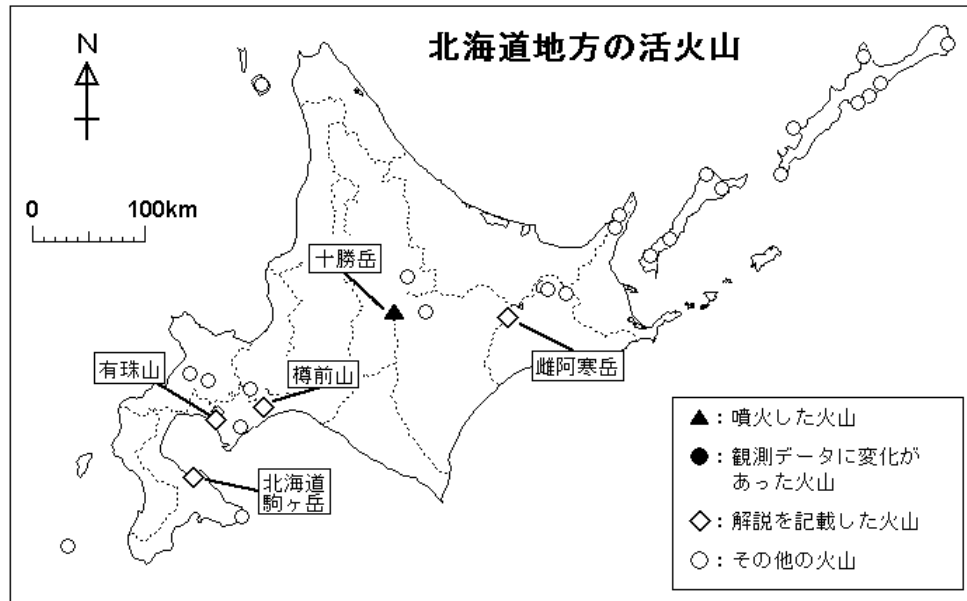


## 北海道地方の火山活動解説資料(平成 16 年 4 月)

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



## 雌阿寒岳

**火山活動はやや活発な状態が続いています。**

ポンマチネシリ 96-1 火口ではこれまでと同様高温の状態が続いていると推定されます。噴煙はやや少なく、火山性地震も少ない状態が続いています。

## 十勝岳

**火山活動はやや活発な状態が続いています。**

今月に入ってから振幅の小さな火山性微動が 9 日、12 日および 19 日に観測されました。このうち 19 日の微動発生時には 62-2 火口から火山灰混じりの有色噴煙が観測されました。有色噴煙の前後で火山性地震の増加は見られず、空振計にも変化は認められませんでした。

十勝岳では、同様な現象が 2 月 25～26 日にも発生しました。微動発生源は浅く火山性地震の増加も見られないことから、これらの現象は本格的なマグマ活動によるものではなく、火口直下浅部における地下水や火山ガスが関係した小規模な現象であると考えられます。今後も同様な現象が繰り返される可能性があります。

## 樽前山

**火山活動はやや活発な状態が続いています。**

A 火口および B 噴気孔群ではこれまでと同様高温の状態が続いていると推定されます。噴煙はやや少なく、火山性地震も少ない状態が続いています。

## 有珠山

**火山活動は静穏な状態が続いています。**

## 北海道駒ヶ岳

**火山活動に特別な変化はなく、静穏な状態が続いています。**

地殻変動はわずかながら山体膨張の傾向が続いています。昭和 4 年火口などではこれまでと同様弱い噴煙が見られています。火山性地震は少ない状態が続いています。

北海道駒ヶ岳では 1996 年から 2000 年までの間に 6 回の小噴火が発生しており、噴火発生の数年前に小噴火を繰り返した 1929 年大噴火や 1942 年中噴火の前の状況と類似しています。

次の火山活動解説資料(平成 16 年 5 月分)は 6 月 7 日に公表します。

(札幌管区气象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>、気象庁ホームページ <http://jma.go.jp>)